

2009年度

科目名	社会システム論B			コード	54480
担当教員	箱田 徹			単位数	2
配当	人社3	講時	金曜日4限	単位数	2
開期	後期	講時	金曜日4限	単位数	2
授業テーマ	セクシュアリティと権力				
目的と概要	フランスの思想家ミシェル・フーコーの著作『知への意志』(1975年、邦訳は新潮社刊)は、権力の基本的なはたらきは抑圧・禁止ではなく誘惑であるとの仮説を提出し、1970年代以降の現代社会論に決定的なインパクトを与えました。この授業では同書と関連文献を丁寧に読むことで、現代のセクシュアリティ論やジェンダー論、フェミニズムの理論的背景に近づくことを目的とします。受講者には毎回交替でレジュメ作成と報告を行ってもらいます。なお背景知識や理論的な箇所などは必要に応じて講師から解説します。				
成績評価法	平常点、授業での貢献(発言、報告など)、試験により総合的に評価します。				
テキスト	コピーを配付します。				
参考書	講義の中で指示します。				
履修に当たっての注意・助言	受講者からの積極的な貢献を期待します。				
講義計画					
第1回 オリエンテーション:セクシュアリティという問題(講義) 第2回 フーコーの問題設定にとってのセクシュアリティの位置(講義) 第3回 『知への意志』の講読(1) 第4回 『知への意志』の講読(2) 第5回 『知への意志』の講読(3) 第6回 『知への意志』の講読(4) 第7回 『知への意志』の講読(5) 第8回 『知への意志』の講読(6) 第9回 中間まとめ 第10回 関連文献の講読(1) 第11回 関連文献の講読(2) 第12回 関連文献の講読(3) 第13回 関連文献の講読(4) または参加者の関心に基づく発表 第14回 関連文献の講読(5) または参加者の関心に基づく発表 第15回 まとめ					